



令和5年3月号

NO.2

この号の内容

ページ 2

119番通報のポイント・迅速
指令！

ページ 3

救急出動時のサイレン吹鳴

ページ 4

スマートフォン等の自動119
番通報・救急車の適正利用に
ついて

あぶくま消防本部

指令課だより

【広報誌】



119番通報のポイント

① 火事なのか救急なのかを伝える

② 住所、目標となるものを伝える

・建物名や交差点名など

③ 現在の状況を伝える

・火事の場合は燃えているもの
・救急の場合は傷病者の状態

④ 名前と連絡先を伝える

・詳しい情報を得る為に指令室から
連絡することがあります

◎ その他通信指令員に聞かれたことを
落ち着いて正確に伝えてください。

情報の聴取中に

迅速に出動指令をかけます！

あぶくま消防本部指令課では
1秒でも早く出動指令を出すため【**チームワーク**】に重点を置き、職員同士の連携を図りながら緊急通報に対応しています。

119番





救急出動時のサイレン吹鳴

【119番通報による救急要請時】

指令員「はい。119番消防です。

火事ですか救急ですか。」

通報者「救急車の要請です。でも、

救急車のサイレンは鳴らさないで来てください。」



119番通報による救急要請時に、サイレンを鳴らさないで出動するようにと依頼されることが増加傾向にあります。

いち早く救急車や消防車が現場に到着出来るよう

サイレンを鳴らす必要があります。ご理解ください。



スマートフォン等の自動119番通報



普段の生活やレジャーを楽しんでいる時など、激しい衝撃を検知し一定時間操作がない場合自動で緊急通報される機能があります。

その場合、通信指令室から安否確認の電話をしますのでご対応お願い致します。間違いであれば「間違いです」と伝えてください。電話がつかない場合、消防車、救急車が出動して、捜索などをする場合があります。

救急車の適正利用について

あぶくま消防本部からのお願いです。

救急車は地域住民の皆さまが、必要な時に誰でも平等に利用できるものですが、救急車の台数には限りがあります。

気軽に救急車を利用したり、いたずら通報で救急車を呼ばれてしまうと一刻を争う傷病者への出場が遅れる場合もあります。

本当に救急車を必要とする人がすぐに利用できるように
1人でも多くの方が助かるように

救急車の適正利用をお願い致します。